

世田谷区議会企画総務常任委員会（12月19日開催）で出された意見

No	意見
1	<p>前回、町会・自治会のことを申し上げたが、今回の議論にもあまり町会・自治会や商店街が出ていない。世田谷は、商店街などが一生懸命頑張っていて、それと町会・自治会とが連携しながら地域ができていると思う。今回、せたがやペイが普及しているのも、そういう下地があつてのこと。「区民の生命を守る」「子どもを中心に据えた施策の組み立て」など五つのコンセプトがあるが、町会・自治会や商店街が、今担っていることが多いと思う。そういう今やっていることなしに考えていくのは非常に問題があると思うし、今までの実績を踏まえないと、これからさらに上を目指す計画はできないのではないかと。今までの実績等をもう少し委員と共通認識を図って議論してほしい。</p>
2	<p>「民生委員もなり手が少ないが、これも町会・自治会の加入率が低いことが関係しており、今後、さらに高齢化が進むと、より大きな問題となってくる。町会の加入率が落ちていることによって、今様々な問題が生じていると思う。町会加入率を上げることによって今問題になっていることで解決できることもかなりあると思うので、その辺のところも議論してほしい。</p>
3	<p>世田谷らしさというものが何で、そのために何をしていくのかという視点が欠けている。課題認識等を見ても、広く日本が今抱えている課題等に基づいた意見であると理解できるが、都心に近い住宅街であるということ、人口が多いこと、どんな方が住んでいるか、などそうした共通認識が、委員の皆さんの中で統一されていないままに、何となくいいことを議論しているように見えてしまう。改めて世田谷はこういうまちで、今欠けているのはこうした部分、といった共通認識をすり合わせたうえで議論すべき。例えば、緑が多いというと練馬区、都心に近い住宅地というと、目黒区や川崎市などと競合になるかもしれないが、そうした近隣自治体との違いをどう捉え、それを伸ばす、あるいは補うといった議論をしてほしい。</p>
4	<p>世田谷という自治体に暮らしている区民が、豊かさ便利さということで考えたら、何が大事なのかということが抜けていると感じる。世田谷は確かに良好な住宅街だが、ただ緑があつて静かなまちだから暮らしやすいということではなく、近くに買い物しやすい商店街があつたり、交通の便がよかつたり、そういう視点がすごく大事なのだがそうした視点が抜けている。</p> <p>商店街等が担う役割は非常に重要であるが、世田谷区は人口が多いわりに商店街への支援が中途半端ではないかと感じる。</p> <p>区民が暮らしやすいということに関して、どういう視点を持っているかはすごく大事なことなので、ぜひその辺の視点を持って議論してほしい。</p>